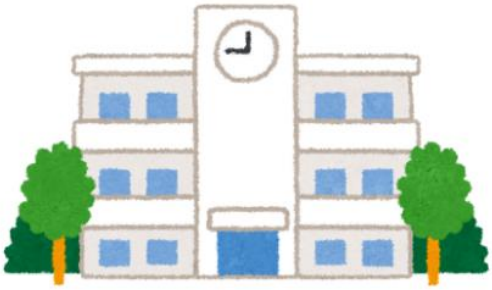
多文化の 子どもと 保護者のための

入 学 ・ 編 入ガイドブック

～藤沢市版～ （やさしい日本語）



はじめに

こんにちは！ 日本の 神奈川県 藤沢市の 学校へ、ようこそ！

このガイドブックは、日本の 小 学校・ 中 学校について、やさしく 説明しています。

私 たちは 子どもたちが 学校で、楽しく 勉 強 できることを 心 から応援します。

1. 藤沢市のサポート体制

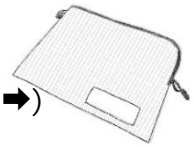
藤沢市では、日本語指導が 必要な 子どものために、学校に 国際 教 室が あったり、日本語指導員が 学校に 行ったりします。サポートが 必要だと思ったら、学校に早めに 相談してください。

また、 湘 南台 小 学校には、日本語指導 教 室が あります。日本語指導が 必要（日本語で 学校生活を 送るのが 難 しい レベル）で、国際 教 室が ない 学校の 小 学生・ 中 学生が 通うこと（＝通 級 ）が できます。通 級 する 小 学生は、保護者が 一緒に 行きます。

面談のときには、通訳を お願いできます。

※通訳の人の 都合が あわないことや、希望の 言語の 通訳が いないことも あります。

2. 小学校の 1年間の 予定 （学校によって、ちがいます）



先生から、1年間の予定表や、毎月の予定表をもらいます。連絡袋(➡)に 大切な 手紙が 入っています。保護者は、毎回 家で 連絡袋を 確認してください。

子どもたちは、宿題や次の日の勉強の予定を連絡帳(➡)に書きます。保護者は、毎回 家で 連絡帳を 見てください。そして、次の日に 持っていくものを 準備してください。

宿題が あるときは、できる範囲で、家の人も 見てあげてください。

一学期	4月	始業式、入学式、身体測定・健康診断、授業参観①、懇談会①、遠足①
	5月	家庭訪問
	6月	引渡訓練、個人面談、水泳学習、社会科見学（3年生以上）
	7月	水泳学習、夏休み（7月21日頃から）
	8月	夏休み（8月31日頃まで）
二学期	9月	水泳学習、修学旅行（6年生）
	10月	運動会、宿泊学習（5年生）
	11月	授業参観、懇談会、個人面談、遠足
	12月	冬休み（12月25日頃から）
三学期	1月	冬休み（1月7日頃まで）
	2月	授業参観、懇談会
	3月	卒業式、修了式、春休み（3月25日頃から）

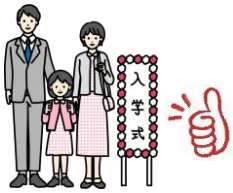
3. 中学校の1年間の予定（学校によって、ちがいます）

先生から、1年間の予定表や、毎月の予定表をもらいます。

前期	4月	入学式・始業式、部活動仮入部、身体測定・健康診断、授業参観、家庭訪問、全国学力・学習状況調査
	5月	部活動正式入部、体育祭、修学旅行（3年）
	6月	衣替え、中間テスト
	7月	授業参観、進路説明会、夏休み（7月21日頃から）
	8月	夏休み（8月31日頃まで）
	9月	期末テスト、文化祭、　＊1
後期	10月	衣替え、合唱コンクール
	11月	中間テスト、進路説明会（3年）
	12月	三者面談
	1月	学年末テスト（3年）、宿泊学習（1年）
	2月	神奈川県公立高等学校入学者選抜（3年）、学年末テスト（1,2年）
	3月	卒業式、修了式、春休み（3月25日頃から）

＊1：9月に、多文化共生教育ネットワーク（ME-Net）が多文化の中学生と保護者向けに、「高校進学ガイダンス」を開きます。くわしくは、p.17を見てください。

4. 保護者と関係の深い行事



1）入学式

1年生と保護者（＝お父さん、お母さん）が　学校へ いっしょに 来ます。この日、担任の先生や 同じ 組の 友だちと 初めて 会います。入学式には、保護者は スーツなどを 着ます。パーティーに 着る 服ではありません。中学生は 制服を 着ます。この日、教科書を もらいます。就学指定通知書、手さげ袋と 上ばきを 持っていきます。くつを 上ばきに はきかえて、学校に 入ります。入学式が 始まる 時間を 守ります。

2）身体測定・健康診断

学校で 身長や 体重を はかったり、医者が 子どもの 体の 調子を みたりして、記録カードに 書きます。保護者が カードを 見て、押印(はんこをおす)か サインを したあと、子どもが カードを 学校へ 持ってくることも あります。カードを 配るだけの　学校も あります。

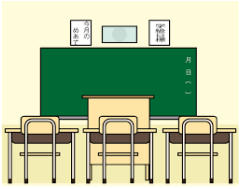
3）家庭訪問

担任の 先生が 子どもの 家に 行きます。先生は 10分から 15分くらい保護者と 話 を します。子どもの 家での ようすなどを 話します。

4）個人面談・三者面談

担任の先生と 保護者が 学校で 子どもの 勉強 のことや 毎日の 生活のことなどを 話します。中学校では、進路のことなども 話します。進路担当の 先生も います。日本語の サポートがある 高校など、受験について相談することも できます。

5）授業参観



保護者が 学校に来て、子どもが 勉強 する ようすを 見ます。
子どもが 書いたものや、作ったものを 見ることができます。

6）懇談会

保護者が 子どもの 教室で 担任の 先生や ほかの 保護者と 交流 します。大切な 連絡も ありますから、参加しましょう。

7）引渡訓練

地震などの災害が起きた時のための練習です。引渡訓練がある日、保護者は子どもを迎えに学校へ来ます。

8）運動会・体育祭

ダンスをしたり、走ったりします。運動会の1カ月くらい前から、子ども達は練習をします。半日で終わる学校や、お弁当を持っていく学校もあります。

9）遠足・社会科見学・修学旅行・宿泊学習

同じ学年の友達や担任の先生たちと、公園や水族館などへ行きます。歩いて行ったり、バスや電車で行ったりします。お弁当を持って行きます。修学旅行や宿泊学習では、ホテルなどに泊まります。たくさんお金がかかるときもあります。参加できるように、少しずつお金を貯める方法もあります。

10）音楽発表会・学習発表会
文化祭・合唱祭　（＊中学校）

歌を歌ったり、調べたことを発表したり、劇をしたりします。学校や学年が違うと、発表することは、変わります。

11）卒業式

小学6年生または中学3年生と保護者は、スーツなどを着て参加します（中学生は制服です）。卒業生は校長先生から卒業証書をもらいます。

12）PTA(Parent-Teacher Association) 活動

ＰＴＡというグループがあります。保護者が通学路や、学校で子どものためにいろいろな活動をします。できる範囲で参加するといいでしょう。

5. 日本の学校のきまり　（学校によって、ちがいます）

① お金、お菓子、携帯電話、おもちゃを 学校に 持って来てはいけません。

② 朝、学校に 来たら、帰る 時間まで、学校の 外に 出てはいけません。

③ 学校へは、歩いて 行きます。決められた 通学路を 通って下さい。
自転車通学や バス通学の 学校もあります。学校に 聞いてください。

④ うちの 人と いっしょに 行きません。 車 で 学校に 行きません。

⑤ 一般的に ピアス・パーマ・化粧 ・香水は 禁止です。ヒジャブと
いった 宗 教 的な 配慮など、何か 特別な 理由がある場合は、学
校に 相談してください。

⑥ 授 業 や 学校 行 事は、休まないでください。

⑦ 長い期間 休む時や、引越しを する時は、早めに 学校に 連絡してください。

⑧ 病 気などで 休むとき、学校に 連絡してください。連絡の 方法＊は 学校によって
ちがいます。学校に きいてください。

⑨ 遅れるとき（遅刻）や 早く帰るとき（早退）も 学校に 連絡してください。

- 遅れるとき（遅刻）は、保護者が 子どもと いっしょに 学校に 行きます。
- 早く帰るとき（早退）は、保護者が 子どもを 学校に 迎えに 行きます。

⑩ 先生から 電話や、連絡 帳 で 連絡が くることが あります。学校から、保護者全員に メールを
送ることも あります。

＊連絡の方法は、インターネット（「遅刻・欠席連絡フォーム」）、電話、連絡 帳 などがあります。「遅刻・欠席連絡フォーム」が、Google フォームの場合は、いろいろな 言語に 自動翻訳できることも あります。

★参考１ 電話で 連絡する 方法

下は、電話で 連絡する時の 例です。参考に してください。

①もしもし。
Moshimoshi.
★年☆組、（子どもの名前 ●●）の家族です。
★nen ☆kumi, ●● no kazoku desu.

②【＊の どれかを 言ってください】

＊きょうは　休みます
Kyou wa yasumimasu.

＊きょうは　遅れます。
Kyou wa okuremasu.
●時●分に　行きます。
●ji ●fun ni ikimasu.

＊きょうは、早退します。
Kyou wa soutai shimasu.
☆時★分に　●●が、迎えに　行きます。
☆ji ★fun ni ●●ga mukae ni ikimasu.

③【理由を 言いましょう】

＊（かぜ　/ けが　）です。
(kaze / kega) desu.

＊（お腹　/　頭　…）が　痛いです。
(onaka / atama …) ga itai desu.

＊　熱が　あります。（●●）℃です。
Netsu ga arimasu. ●● do desu.

＊　病院に　行きます。
Byouin e ikimasu.

＊　家の　用事が　あります。
Ie no youji ga arimasu.

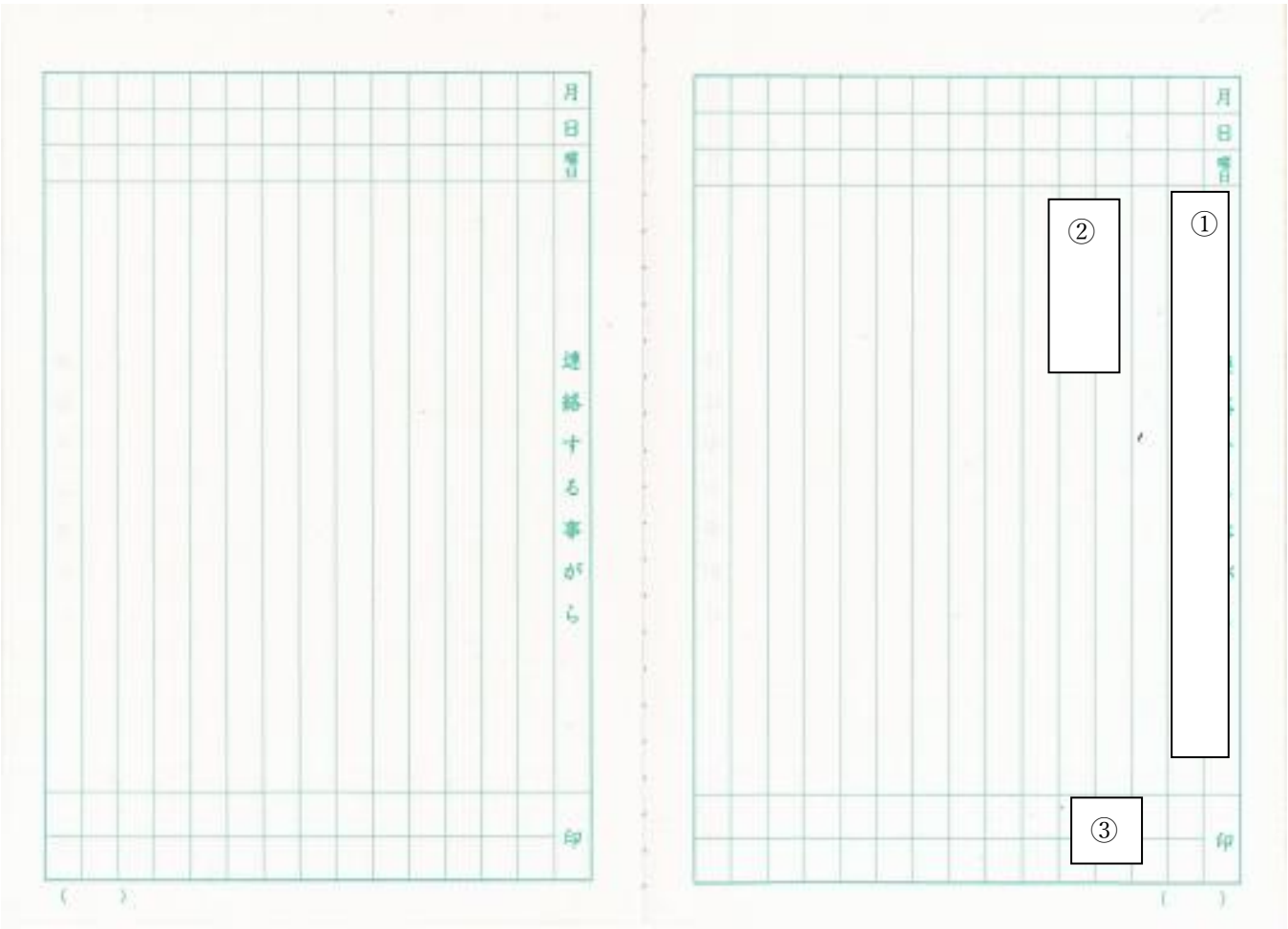
④よろしく　おねがいします。
Yoroshiku onegai shimasu.

★参考2 連絡帳で 連絡する 方法

① 子どもが 宿 題や 次の日の 時間割、持ち物などを 書いたり、先生が 保護者への連絡を 書いたりします。

② 家庭からの 連絡を 書いて、先生に 伝えることも できます。たとえば、欠席、遅刻、早退、薬 を飲むときなどです。先生に 質問や 相談を 書いてもいいです。
ひらがなで 書くのが 難しい人は、ローマ字で 書いてもいいでしょう。

③ 保護者は 連絡 帳 を 毎日 読みます。先生からの 連絡や、質問の 返事を 読んだら、サインをしましょう。



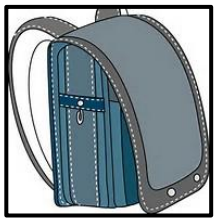
6.学習のための持ち物　（学校によって、ちがいます）

＊持ち物に、名前を書いてください。えんぴつや、けしゴムにも、書きます。
＊小学１年生は、クラスメートも読めるように、ひらがなで書きます。

A. 入学までに保護者が準備します。

A－１ 小学校のみ

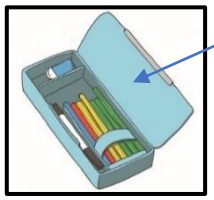
ランドセル(型のかばん)



手さげ袋

体操着

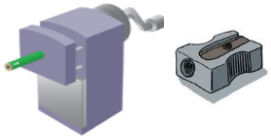
赤白帽



２B～B の黒えんぴつ(5本くらい)、赤えんぴつ(１本)、けしゴム、黒の油性ペン

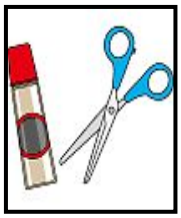
＊えんぴつは毎日家でけずって来ましょう。

えんぴつけずり　→



したじき

のり、はさみ



色えんぴつ

クレヨン

給食用ナフキン

ナフキン入れ

おりがみ

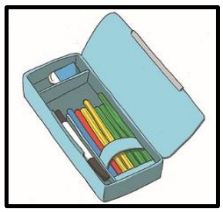
防災ずきん

ヘルメット

＊教室にヘルメットがあるため、防災ずきんを買わなくていい学校もあります。

A−2. 小学校・中学校

体操着入れ　上ばき・体育館ばき　上ばき袋　体育館ばき入れ　ぞうきん　ふでばこ



① 毎日、学校へ 教科書と ノートと ふでばこを 持って来ます。

② 月曜日に、上ばきを 持って行きます。金曜日に 家へ 持って帰ります。洗ってください。

＊小学校のみ

③ 月曜日に、学校へ 体操着を 持って来ます。体育の授業の 前に、体操着に 着替えます。
体操着は、金曜日に 家へ 持って帰ります。洗濯してください。

A—3. 中学校のみ

（学校指定の ものが　あります。売っているお店は、学校に きいてください。）

制服➡

体操着➡

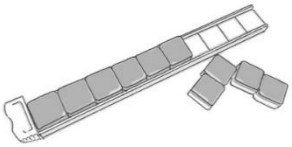
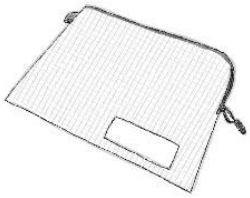
＊制服がない学校も

あります

B. 学校で準備します

（お金は クラスで 集めます。）＊小学校のみ

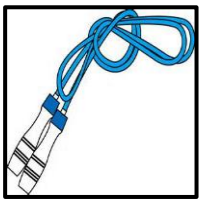
道具箱　算数ブロック　連絡袋　国語ノート　算数ノート

C. 入学してから買います　（買う時は、学校から お知らせが あります。）

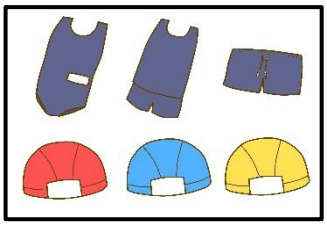
鍵盤ハーモニカ

なわとび

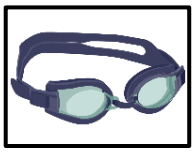


水着（長袖,長ズボンも OK）

水泳帽



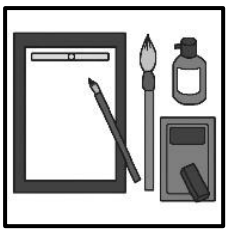
ゴーグル



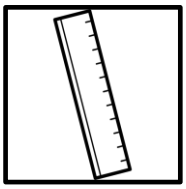
絵の具セット

リコーダー（小学3年生から）

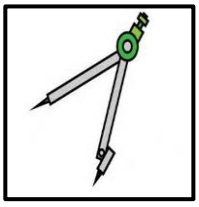
書道セット（3年生から）



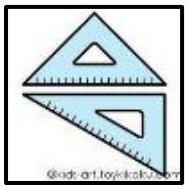
定規



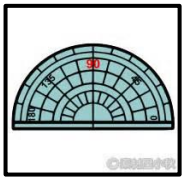
コンパス(3年生から)



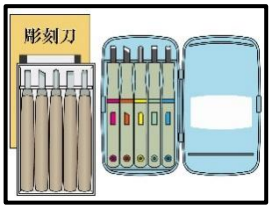
三角定規(3年生から)



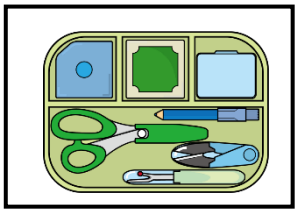
分度器（4年生から）



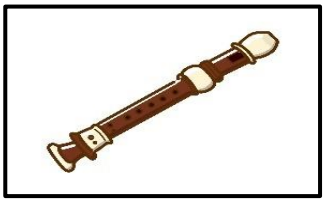
彫刻刀(４年生から)



裁縫セット(5年生から)



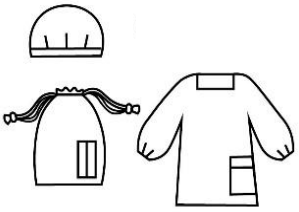
アルトリコーダー(中学1年生から)



D. その他

① 時々、集金があります。教材費（ドリルや、図工の材料など、教材のお金）、野外学習費や、修学旅行費などです。集金は、封筒にお金を入れて学校に持っていく時と、口座から引き落としの時などがあります。

② （小学校のみ）給食当番があります。給食当番は、1週間で交代します。当番が終わった金曜日に、白衣と帽子を家へ持って帰ります。洗濯して、アイロンをかけて、月曜日に学校へ持って来ます。



白衣と帽子
(学校から借ります)

★参考3 小学生が勉強する教科

担任の先生がほとんどの教科を教えます。

1） **国語** ：ひらがな、カタカナ、漢字を勉強したり、文章を読んだりします。自分が見たこと、思ったことを話したり書いたり、友達の話を聞いたりします。外国語としての日本語の勉強ではありません。漢字は、小学校6年間で1026字勉強します。

2） **算数** ：数や計算、形の勉強をします。定規や、コンパスも使います。

3） **生活科**（小学1,2年生） **理科・社会**（小学3～6年生） ：子ども達の身の周りの自然や地域や歴史について勉強します。小学3年生から理科と社会科に分かれます。

4） **音楽** ：歌を歌ったり、楽器で演奏したりします。鍵盤ハーモニカ、リコーダー、カスタネットやタンバリンなども使います。

5） **図工** ：絵の具で絵をかいたり、工作したりします。紙、ねんど、はさみ、のりなどを使います。4年生になると、彫刻刀を使って、木などを彫ることもあります。

6）**体育**：体操服に 着替えて、走ったり、ボールを 投げたり、マットの 上で 運動したりします。夏（6月から）は、水泳の 授 業 があります。

7）**道徳**：社会の ルールや、モラルを 学びます。「生きるために 大切なこと」などを 考 えます。

8）**家庭科（小学5年生から）**：料 理を したり、 袋 や エプロンを 作ったりします。

9）**外国語活動（小 学3年生から）・外国語（小 学5年生から）**：主に 英語を 使って、簡単な 会話を します。小 学5年生からは、アルファベットも 勉 強 して、読んだり 書いたりします。

＊このほか、字を きれいに 書く「書写（書道）」や、パソコンの時間もあります。

★参考4 中 学生が 勉 強 する 教 科

教 科によって、先生が 変わります。

前期と 後期の 終わりに、「通知 表 」(各 教 科の 成績)を もらいます。成績は よい 順 に、「5，4，3，2，1」です。留 年は ありません。

1）**国語**：日本語で 話す、読む、書く、聞く中で、考 える 力 や、表 現する 力 を 育てます。第二言語として 日本語を 教えてくれることは ありません。日本の 昔 の 言葉を 使った文 章 （＝古文）や、中 国の 古い 詩や 文（＝漢文）も 勉 強します。

2）**数学**：数、計算、量 、測定、図形などについて、勉 強 をします。定 規や、コンパスも 使います。

3）**理科**：生物（ 植 物、動物、遺伝など）、地学（宇 宙 、地震、天気など）、物理（運動、電 流 、光 ・音など）、化学（物質や化学反応、元素や化合物など）について、勉 強 します。実験や 観察 なども します。

4）**社会**：中 学1，2年生で、地理（地 球 の自然環 境 や地域の特性、気候、地形など）、歴史（日本や世界の歴史など）について 勉 強 します。中 学3年生のとき、公民（政治、経済、個人と社会との関係など）について 勉 強 します。社会の 問題について 考 えます。

5）**英語**：小学校で、アルファベットや簡単な英語の表現は勉強しています。中学生は、いろいろな文法を勉強します。話す、読む、書く、聞く活動をして、応用的な英語力を育てます。

6）**音楽**：歌を歌ったり、楽器で演奏したりします。音符の読み方も勉強します。有名な曲についても勉強します。

7）**美術**：絵をかいたり、作品を作ったりします。彫刻刀を使って、木を彫ることもあります。有名な美術品についても勉強します。

8）**保健体育**：体育の時間は、体操服に着替えて、走ったり、ボールを投げたり、マットの上で運動したりします。夏（6月から）は、水泳の授業があります。保健の時間は、体の発育、事故の予防や応急手当、健康的な生活習慣、健康に悪い行動（たばこや、麻薬）などについて勉強します。

9）**技術・家庭科**：技術の時間は、木材、金属などを使って、ものを作ります。情報通信やコンピューターの基本を勉強します。家庭科の時間は、料理や裁縫をします。家庭生活、栄養、住居などについても勉強します。

＊このほか、字をきれいに書く「書写（書道）」や、道徳（ルールやモラルについて）、総合的な学習の時間、特別活動なども あります。

★重要

中学生にとって、家での復習や宿題、テストの勉強などは大切です。一人で勉強するのが大変なときは、放課後、「学習支援」がある学校もあります。ボランティアが手伝ってくれる地域の教室もあります。調べてみましょう。

7. 小学校・中学校の１日

1) 朝の会／朝の学習

朝の会で、担任の先生は、子どもの 体の調子や、出席を 確認します。そして、１日の予定を 確認します。朝の 学習の 時間に、本を 読んだり、小テストを 受けたりします。

2) 授業

小学校の授業は、45分です。そのあと、休み時間が 5分 あります。２時間目の あとに20分 休みが あります。

中学校の 授業は、50分です。そのあと、休み時間が 10分 あります。子どもは、授業の予定（時間割）を チェックして、次の 授業で、必要なもの（教科書や ノートなど）を確認しなければなりません。

試験の 結果だけでなく、授業の 宿題や 課題も、成績に 関係します。基本的に、中学２年生からの 成績は、高校受検の 資料として 活用されます。

3) 昼食

小学校では、月曜から 金曜まで 給食が あります。教室で みんなと 一緒に給食を 食べます。給食は、先生と 当番が 準備します。アレルギーや 宗教上の 理由で 食べられないものが あったら、学校に 相談してください。例えば、アレルギーの ものだけ ない給食に したり、牛乳だけ 同じにして、弁当を 家から 持ってきたり することが ありま

す。

中学校では、注文すれば、学校の 給食を 食べることが できます。アレルギー対応は ありません。１か月の メニューを 見て、給食に する日を 選ぶことが できます。注文していない 生徒は、お弁当を 持ってきます。

4) 掃除

子どもが 毎日、教室や 廊下、トイレなどを そうじします。

5) 帰りの会

帰る前に、帰りの会が あります。 宿 題や、次の日の 活動などについて 連絡が あります。

6) クラブ活動（小 学校）・部活動（中 学校）・委員会活動

小 学５，６年生になると、クラブ活動や、委員会活動が あります。
クラブ活動で、子どもは、自分の 好きな クラブを 選んで、参加します。 中 学校の 部活動は、放課後の 活動です。土曜日・日曜日や、朝の 練 習 が ある部活も あります。部活に 入らなくてもいい 学校も あります。

委員会活動は、学校で 役割を 持って 活動します。
高校受検の ときに、部活動や、委員会活動のことを アピールすることが できます。

8. 小 学校に 入 学する 前に 練 習 しましょう!

□ 一人で トイレを 使う

□ 一人で 服を 着替える

□ 家から 学校まで 歩く

□ ①～⑤を 言う

① 自分の 名前

② （先生に 名前を 呼ばれた時）「はい」

③ 「ありがとう」「ごめんなさい」

④ 「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」

⑤（困った時の 言い方）例えば…

「気持ちが 悪い」「おなか／ 頭 が いたい」「トイレに 行きたい」など…

★参考5 日本の教育制度

義務教育は 小学校と 中学校の 9年間です。落第は ありません。

学年は、誕生日で決まります。ただし、日本に 来たばかりの 子どもは、1年下の 学年に 入ることも あります。学校と 相談してください。

高校や、大学・専門学校に 入るためには、試験が あります。

義務教育

幼稚園・保育園

↓

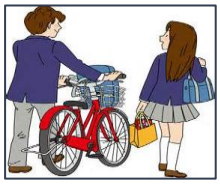
小学校（6年間）

＊6才の誕生日の 後の 4月から 1年生です。

↓

中学校（3年間）

↓



高等学校（高校）（3年間）

＊入学の ための 試験（入試）に 合格すると、入学できます。

＊4年間の 高校や、夜の 高校も あります。

＊来日して 6年以内の 生徒は、特別な 受検方法が利用できる 高校も あります。くわしくは、こちらを 見てください➡

https://hsguide.me-net.or.jp/

↓

大学（4年間）・短期大学（2年間）・専門学校（2年間）

＊入学の ための 試験（入試）が あります。

9. 教育にかかるお金のこと

A）日本では、義務教育（中学校）のあと、約98%の人が高校に行きます（進学します）。
高校のあと、84%の人が、大学や専門学校に進学します。
（参照：文部科学省 (R3)「高等学校教育の現状について」）

B）勉強を続けるためには、お金がかかります。また、小学校でも、お金はかかります。例えば、必要なお金は、以下のとおりです。（公立学校に通った場合。学校教育費、給食費などの合計）

- 小学校：1年間に約105,000円（体操服、絵具、裁縫セットなどの購入や給食費、修学旅行費など）×6年間
- 中学校：1年間に170,000円（部活動の用具代、制服代、修学旅行費など）×3年間
- 高校：1年間に約309,000円（入学金、授業料、部活動、修学旅行費など）×3年間

＊このほかに、習い事や塾に通う場合は、もっとお金がかかります。
＊高校や専門学校、大学の入試を受ける時、受験料（試験を受けるためのお金）が必要です。
（参照：文部科学省 (R3)「子どもの学習費調査」）

C）お金がたくさん必要ですが、サポート（就学援助制度）もあります。

- 小学校・中学校…就学援助制度
- 高校等…高等学校等就学支援金制度、奨学給付金制度、高等学校等奨学金
- 大学・専門学校等…いろいろな奨学金

D）子どものために、小さいときから、お金を貯めることが大切です。児童手当（子どものために市からもらえるお金）の手続きをして、銀行の自動積立などを使って、少しずつ貯めましょう。

10. 学校に提 出 する書類の例　　＊学校によって ほかにも あります。

1） 保健調査 票

2）心臓病 調査 票

3）就 学援助制度のお知らせ

4）就 学援助申請兼世帯 票

5）児童個人 票 ・児童カード　/生徒個人 票 ・生徒カード　＊学校によって 違います。

6）PTA関係文書　　＊学校によって 違います

7）給 食関係文書（口座振替など）

＊言語によっては 翻訳が ある 書類も あります。学校に 聞いてください。
＊締切日までに 出してください。わからないことは 学校に 聞いてください。

11.言葉・文化について

1） 家庭での　コミュニケーション

子どもが 学校に 入ったら、学校の 様子を よく 聞きましょう。子どもが 本当に 困った時に、保護者に 相談しやすく なります。

言語は、家庭でよく使う言語（＝家庭言語）でも 日本語でも、コミュニケーションが とりやすい 言語で いいです。どちらかの 言語で、複雑なこと（例えば、進学や 将 来のことなど）を 話したいときに、話せるように しておくことが 大切です。子どもが 家庭言語を 忘れないように うちで たくさん その言語で 話したり、保護者が がんばって 日本語を 勉 強 したりするのもいいでしょう。でも、無理に 日本語で 話そうとするより、保護者が 一番 得意な 言語で 話すほうが よいです。もし、子どもが 日本語のほうが 得意になったら、保護者は 家庭言語で 話しかけて、子どもは 日本語で 返す…、それで お互いに わかるなら、それでも よいでしょう。

家庭で コミュニケーションを 取れることが、何よりも 大切です。

２）家庭言語・文化

多文化の子どもにとって、親や祖父母から　受け継いでいる言語(＝家庭言語)や文化は大切です。

子どもが家庭言語で知っていることや、考える力・表現する力は、日本語で学習するときにも役に立ちます。反対に、何かの言語で考える力が育っていないと、自分で深く考えることが難しくなります。

また、子どもは、10代になると、自分は何者か、考えます。そのときに、家庭言語や受け継いでいる文化を知っていることが自分らしさや、自信の１つになります。保護者や親戚との関係も強くします。

言語を育てるには、その言葉で、いろいろな経験をすることです。その日のことを　聞いたり話したりして、考えを伝えること、本の読み聞かせ、動画を見るなど、簡単なことでいいのです。文化も、料理や、簡単な習慣など、身近なことで楽しみましょう。学校などで紹介すると、クラスの友だちが興味を持つこともあります。担任の先生などに、提案してみましょう。

３）生活するときの言葉と　学習するときの言葉

子どもが学校で、日本語を使って上手に話すのを見ると、「もう大丈夫！」と思うかもしれません。でも、授業になると、わからなくて、困る子どもも います。

子どもが、新しい言語を学習するとき、生活するときの言葉は、だいたい２－３年かかると言われます。学習言語（学習するときの言葉）は、５－10年かかると言われます。授業で学習するときの言葉は、とても難しいです。そして、家庭言語でも知らないことを日本語で新しく勉強することは、さらに難しいです。子どもが授業で学習している内容がわかるように、日本語でも　ほかの言語でも、その子どもにとってわかりやすい方法でサポートすることが必要です。

学校に入ったら、子どもの学習のようすを注意深く見守ってください。そして、家庭でサポートできないことがあったら、学校の先生と面談で話したり、連絡帳・電話で相談したりしましょう。地域の人やボランティアなど、保護者の言語がわかる人に相談しても いいですね。

★参考6 困ったとき、相談できます

＊インターネットも見てください。

＊困ったときは、学校の先生や、幼稚園・保育園の先生にも 話してください。

1）藤沢市役所本庁舎の外国人相談窓口

（英語：8:30 ～ 11:30 ／ 13:30 ～ 16:30）

（スペイン語・ポルトガル語）8:30 ～ 12:00 ／ 13:00 ～ 17:00）

毎週月曜日～金曜日（年末年始と祝日等は休み）

場所：市役所 本庁舎4階 市民相談情報課 外国人市民相談室

電話 0466-50-3568

https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/soudanc2-1/shise/kocho/shiminsodan/shise.html

2) 湘南台文化センターでの外国人相談（スペイン語、ポルトガル語）

毎週月曜日・火曜日・金曜日（年末年始と祝日等は休み）

8:30 ～ 12:00 / 13:00 ～ 17:00

場所：湘南台文化センター 2階 外国人市民相談室

相談は面談のみで、電話での相談はできません。

https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/soudanc2-1/shise/kocho/shiminsodan/gaikokujin.html

3) あーすぷらざ 教育相談

（タガログ語、ポルトガル語、中国語、スペイン語、ベトナム語）

火曜日：タガログ語　　水曜日：ポルトガル語、

木曜日と土曜日：中国語　金曜日：スペイン語、ベトナム語

10:00 ～ 13:00 / 14:00 ～ 17:00

電話：045−896−2972　　メール：soudan1@earthplaza.jp

https://www.earthplaza.jp/ep/forum/foreign_education/index.html

4) 多言語支援センターかながわ

（英語、中国語、タガログ語、ベトナム語、スペイン語、ポルトガル語、ネパール語、タイ語、韓国・朝鮮語、インドネシア語、やさしい日本語）

9:00 ～ 12:00 / 13:00 ～ 17:15　　電話：045−316−2770

https://kifjp.org/kmlc/

★参考7　紹介した動画・サイト

1）**「はじめまして！今日からともだち」**
「おしえて！日本の小学校」　（文部科学省）

https://casta-net.mext.go.jp/multilingual-contents/videos-for-learners

日本の小学校を説明しています。いろいろな言語の音声の動画があります（英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、フィリピノ語、ベトナム語、カンボジア語、インドネシア語、韓国・朝鮮語、モンゴル語、ミャンマー語、ネパール語、タイ語、ウクライナ語）。

2）**「東京の学校生活」**（東京都教育委員会）

https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/static/tokyono_gakkoseikatsu/index.html

小・中学校のようすがわかります。英語、中国語、ウクライナ語、韓国・朝鮮語、フィリピノ語の音声の動画もあります。字幕ならどの言語でも見られます。

3）**外国人児童・生徒用日本語指導テキスト「たのしいがっこう」**（東京都教育委員会）

https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/japanese/tanoshi_gakko.html

学校で使ういろいろ表現を勉強できます。表現にカーソルを合わせると、音声を聞くことができます。

◆参考資料：

・認定特定非営利活動法人 教育活動総合サポートセンター『入学ガイドブック（2021年度版）』
・愛知県「プレスクール実施マニュアル」
・愛知教育大学 外国人児童生徒支援リソースルーム「国際ファミリーのための日本の小学校に入学する前に リーフレット」
・茨城NPOセンター・コモンズグローバルセンター「就園・就学リーフレット」

多文化の子どもと保護者のための入学・編入ガイドブック～藤沢市版～

2023年2月発行　2025年2月　第3版

発行：特定非営利活動法人 湘南多文化ガーデン（旧：藤沢市プレスクール教室）

メールアドレス：shonantabunkag@gmail.com

執筆／編集：加藤 真帆子　白頭 宏美

協力：藤沢市教育委員会

※本冊子は藤沢市令和６年度「ミライカナエル活動サポート事業ステップアップ支援コース」の助成を受けて作成しました。